

周南市プール施設分類別計画



平成31(2019)年3月
(令和5(2023)年3月改訂)

周 南 市

目 次

第 1 章	本計画の目的.....	1
第 2 章	施設の設置目的と経緯.....	1
第 3 章	対象施設の一覧.....	1
第 4 章	施設の現状.....	3
第 5 章	施設を取り巻く状況と課題.....	6
第 6 章	今後の施設の方向性.....	8
第 7 章	計画期間.....	10
	参考資料.....	11

第1章 本計画の目的

周南市プール施設分類別計画（以下、「本計画」という。）は、本市の水泳場・プール（小中学校プールを除く。以下「プール」という。）について、今後の施設の方向性を示すものです。

第2章 施設の設置目的と経緯

水泳場・プールは、ほとんどが昭和40年代に設置しています。昭和39（1964）年の東京オリンピックに向けた選手強化とスポーツ施設整備の促進を国が進めたため、この時期にプールの建設が増加しました。

水泳場・プールは、「周南市体育施設条例」に定めるスポーツの振興を図ることを目的とした施設（水泳場（周南緑地）、新南陽プール、鹿野プール）、「都市公園条例」に定める公園の中の施設として市民の「レクリエーション・リラクゼーション」の場を提供することを目的とした都市公園施設（永源山公園プール、勝間街区プール）、生涯学習の推進を図ることを目的とした社会教育施設（水泳プール（鶴いこいの里））の3つに分類されます。

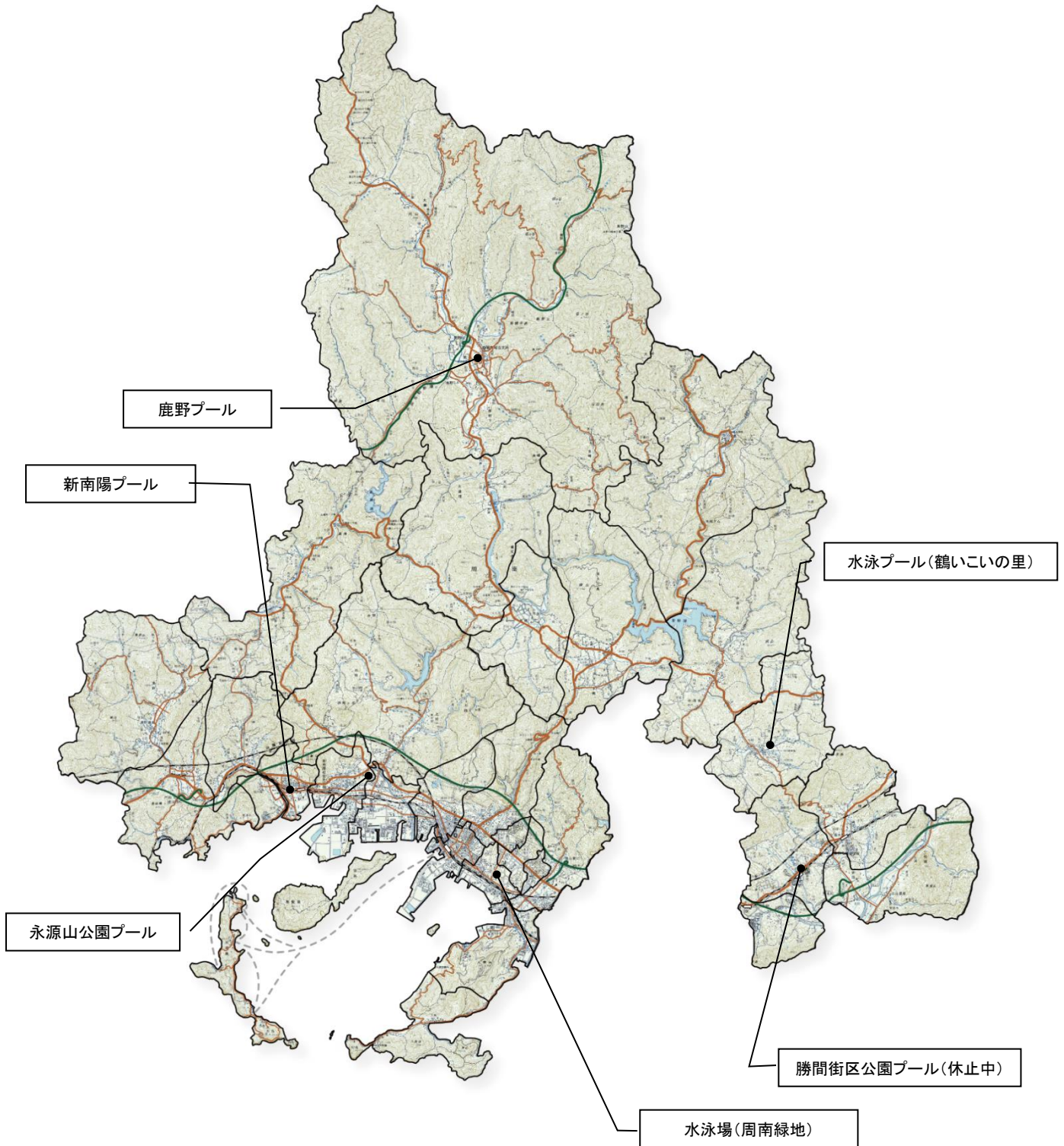
第3章 対象施設の一覧

本計画の対象となる施設及び位置は次のとおりです。なお、対象施設の施設分類は「スポーツ施設」です。

図表1 対象施設の一覧

No.	施設名	所在地	地域	利用圏域	所管課
1	水泳場(周南緑地)	大字徳山10405-1	遠石	広域	文化スポーツ課
2	新南陽プール	福川南町2-1	福川	広域	文化スポーツ課
3	鹿野プール	大字鹿野上3064	鹿野	地域	文化スポーツ課
4	永源山公園プール	大字富田2355-2	富田東	広域	公園花とみどり課
5	水泳プール(鶴いこいの里)	大字八代826-8	八代	地域	生涯学習課
6	勝間街区公園プール	大字呼坂1323-1、1323-9	勝間	地域	公園花とみどり課

図表 2 施設位置図



第4章 施設の現状

(1) サービスの現状

各水泳場・プール施設の主な構成施設及び設備は次のとおりです。

図表3 各施設の主な構成施設・設備

施設名	管理形態	主な構成施設・設備
水泳場(周南緑地)	指定管理	・50mプール 9コース ・25mプール 6コース ・子どもプール
		・管理棟(事務室・更衣室・シャワー室・機械室)
新南陽プール	指定管理	・50mプール 9コース ・児童用プール ・幼児用プール
		・管理棟(事務室・更衣室・シャワー室・機械室)
鹿野プール	指定管理	・50mプール 8コース ・幼児プール
		・管理棟(事務室・更衣室・トイレ)
永源山公園プール	指定管理	・流水プール ・25mプール 6コース ・幼児プール ・スライダープール ・滝プール
		・管理棟(事務室・更衣室・トイレ・シャワー室・休憩所)
水泳プール(鶴いこいの里)	直営	・25mプール 5コース ・幼児用 10mプール
勝間街区公園プール ※休止中	直営	・25mプール 5コース ・更衣室 ・シャワー ・トイレ

水泳場・プールは全て屋外用のため、開場期間が夏季のみの約1か月半です。令和2(2020)年度・令和3(2021)年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休場としました。

利用者数は、永源山公園プールは、平成29(2017)年度、その他の施設は平成28(2016)年度をピークに減少しています。

周南緑地内にある水泳場(周南緑地)には、50mプール(令和3年度までは公益財団法人日本水泳連盟の公認取得)、25mプール、子どもプールがあります。以前は大規模競技大会が開催されていたこともありましたが、近年は競技大会での利用がなく、令和元(2019)年度の利用者数3,275人の大半が子どもプールの利用者です。令和4(2022)年度は施設の老朽化により安全が確保できないことから、運営を中止しました。

新南陽プールは、50mプールと児童用プール、幼児用プールがあります。管理棟は隣接する新南陽ふれあいセンター内にあります。水泳場(周南緑地)と同様に競技大会での利

用はなく、令和元（2019）年度の利用者数は2,188人です。

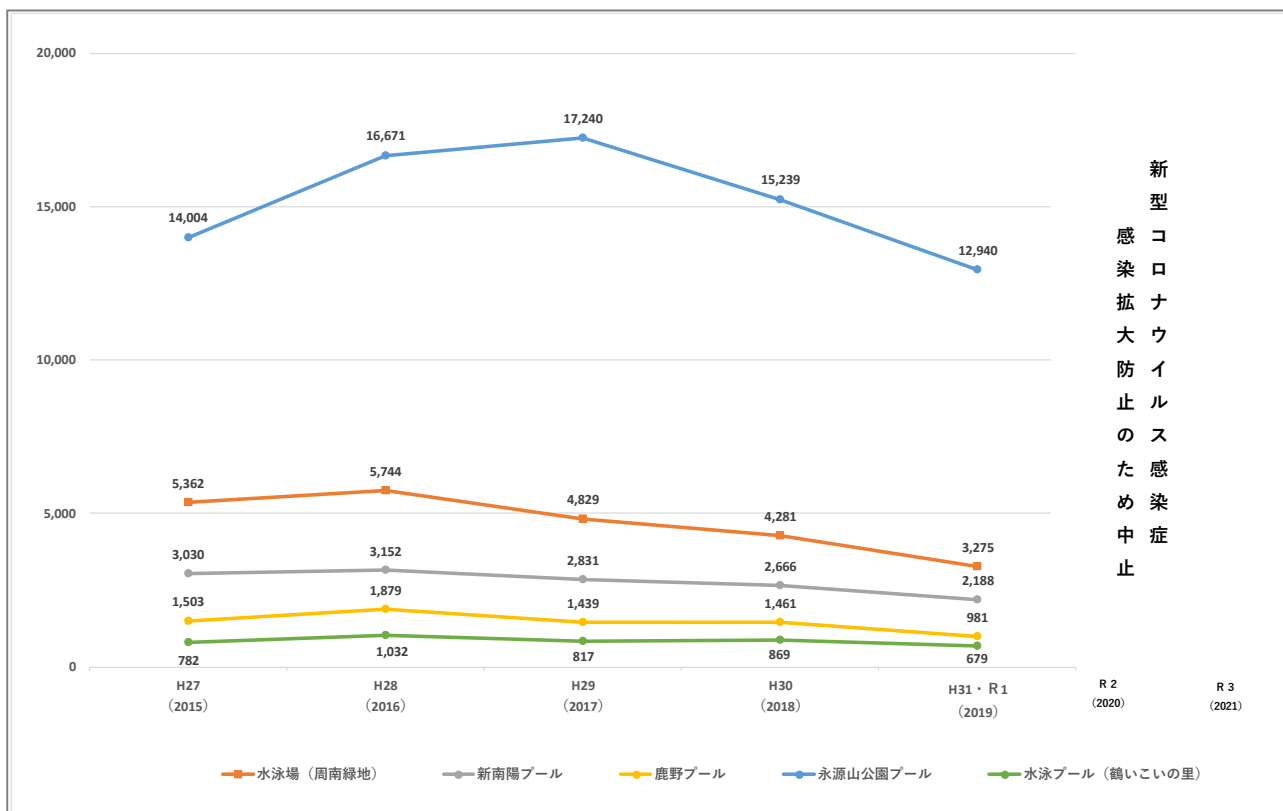
鹿野プールには、50mプールと幼児プールがあります。小中学校の授業で利用されており、一般利用者数は令和元（2019）年度の利用者数981人のうち、約半数の466人です。

永源山公園プールは、永源山公園内にあり、25mプール、幼児用プールのほか、レジャー性の高いスライダープール、滝プールがあります。利用者は減少していますが、市全体のプール利用者数の約6割が永源山公園プールの利用者数です。令和4（2022）年度は人数制限を設けるなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで開場しました。

鶴いこいの里は、宿泊室や野鶴監視所、運動場などの施設がある複合施設で、水泳プール（鶴いこいの里）も構成施設の一つです。25mプールと幼児用プールがあり、八代地域をはじめ近隣の住民の利用や、八代幼稚園、八代小学校が授業で利用しています。

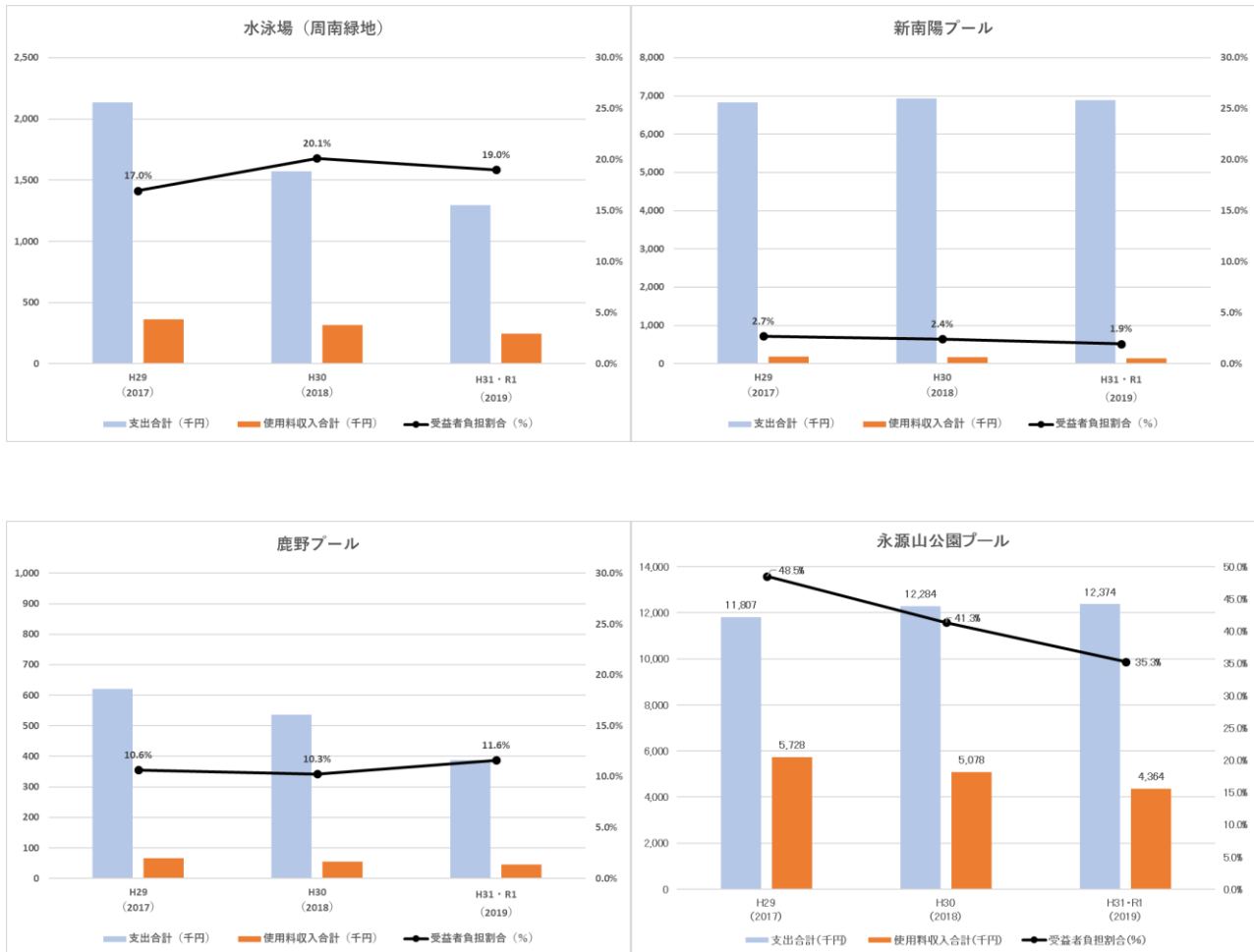
勝間街区公園プールは、公園内に設置した25mプールですが、劣化が著しいため平成23（2011）年度から休止し現在に至ります。

図表4 各施設の利用者数の推移



- * 勝間街区公園プールは平成23(2011)年から休止
- * 鹿野プール及び水泳プール(鶴いこいの里)は学校授業での利用者数を含む。
- * 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2(2020)年度、令和3(2021)年度は開場中止

図表 5 各施設の使用料収入及び運営コストの推移



(2) 建物の現状

建物の現状は次のとおりです。なお、自主点検及びバリアフリーの状況の詳細を含めた建物の現状は、巻末に【参考資料1】として添付します。

図表 6 建物の現状一覧

↓点数が高いほど劣化が進行

No.	施設名	総床面積 (m ²)	主たる建物					R4自主点検結果								
			床面積 (m ²)	建築年度	主構造 / 法定耐用年数	法定耐用年数	耐震性	総合劣化度	バリアフリーの状況		ハザードマップの状況					
									対応	該当	土砂	洪水	高潮	津波		
1	水泳場(周南緑地)	596.24	408.74	1971	S / 34年	経過	無・不明	70.00	未対応	なし						
2	新南陽プール	155.29	98.80	1971	S / 34年	経過	無・不明	88.30	一部対応			氾	0.5m	0.5m未満		
3	鹿野プール	223.49	201.79	1974	RC / 47年	経過	無・不明	62.30	未対応	なし						
4	永源山公園プール	824.07	770.87	1990	RC / 50年	未経過	耐震性あり	38.70	全部対応	なし						
5	水泳プール(鶴いこいの里)	141.40	126.00	1974	S / 47年	経過	無・不明	73.20	未対応	なし						
6	勝間街区公園プール	—	—	1971	CB / 38年		対象外		未対応	なし						

- * 自主点検は毎年実施
- * 構造:RC(鉄筋コンクリート造)、S(鉄骨造)、CB(コンクリートブロック造)
- * 法定耐用年数:減価償却資産の耐用年数に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)において、構造や用途によって記載のもの
- * 土砂・警…警戒区域、土砂・特…特別警戒区域、洪水・河…河岸浸食、洪水・氾…氾濫流

水泳場(周南緑地)は、設置から50年以上経過し、給水管の老朽化が原因と思われる漏水やプールサイドのひび割れ・陥没など、施設全体が老朽化しています。令和4(2022)年度には、利用者が多い子どもプールにおいて、プールサイド等に多数のひび割れや剥離が発生し、利用者の安全が確保できないことから、運営を中止しました。

新南陽プールは、隣接する企業から無償で借り受けた敷地に昭和46(1971)年に設置した施設で、設置から50年以上経過しています。浄化装置や配管、漏水が原因と思われるプールサイドの陥没、プール内の塗装剥落や壁面の亀裂等、施設全体が老朽化しています。

鹿野プールも、設置から50年近くが経過し、施設全体の老朽化が進んでいます。プールサイドや外壁のひび割れ等の施設の劣化だけでなく、令和4(2022)年度には、給水ポンプが故障するなど、機械設備も劣化しています。

永源山公園プールは市内のプールの中では最も新しい施設ですが、設置から30年以上が経過しており、プールサイドの改修などを実施していますが、配管などの設備に劣化が見られます。

水泳プール(鶴いこいの里)は現在運営をしているプールの中で最も古く、昭和41(1966)年に設置され、施設全体が老朽化しています。

永源山公園プールはバリアフリーに対応していますが、水泳場(周南緑地)、新南陽プール、鹿野プール、水泳プール(鶴いこいの里)は、トイレや施設内の段差などバリアフリーに対応しておらず、高齢者や障がい者、幼児などが安全で快適に利用できる環境が十分に整っていない状態です。

なお、自主点検結果等の建物の現状は、巻末に【参考資料1】として添付します。

第5章 施設を取り巻く状況と課題

(1) サービスの状況と課題

水泳場(周南緑地)や新南陽プールでは競技大会での利用がなくなり、子どもの遊び場としての利用が主となり、利用実態からするとスポーツ施設としての設置目的に則したものではなくなりつつあります。また、屋外プールのため、開場する期間が夏季に限定される上に、台風や豪雨などの気象状況等によって休館する必要が生じるなど、利用者数は天候に左右されます。

近隣自治体では、平成 26（2014）年にリニューアルした防府市スポーツセンタープールと昭和 57（1982）年に設置された下松市公園プールは屋外プールですが、それ以外の施設は年間を通じて利用できる屋内プールが整備されています。

また、山口国体の会場となった山口きらら博記念公園水泳プールのように、県内初の日本水泳連盟公認 50m、25mプールを備え、各種水泳競技の大会が開催可能な競技性の高い屋内施設が整備される一方で、防府市スポーツセンタープールのように、もともとあった 50mプールを廃止し、25mプール、流水プール、こどもプール、ウォータースライダーなどのレジャー性の高い屋外施設が整備されるなど、多様化しています。

この他、自治体が設置した施設以外では、1年を通じて利用できる民間の屋内プールが市内に3施設あり、競技大会等も民間施設で開催されています。

図表 7 近隣自治体のプール施設一覧

自治体 (設置場所)	設置年	施設名	屋内・屋外	主な施設
山口県 (山口市)	平成23年 (2011)	山口きらら博記念公園水泳プール	屋内	公認50m×10コース、公認25m×10コース サブプール(25m×8コース)、ジャグジー
山口市	平成3年 (1991)	山口市小郡屋内プール	屋内	25m×7コース、子どもプール
下松市	平成8年 (1996)	下松市温水プール ※令和3年5月から休止中	屋内	25m×8コース、幼児用プール 歩行プール、ジャグジー
山口県 (光市)	平成4年 (1992)	山口県スポーツ交流村	屋内	25m×5コース
その他 (岩国市)	平成7年 (1995)	周陽環境整備組合余熱利用 温水プール グリーンオアシス	屋内	25m、レジャー型温水プール 幼児用プール、ジャグジー
防府市	平成26年 (2014)	防府市スポーツセンタープール	屋外	25m×7コース、子どもプール、流水プール ウォータースライダー
下松市	昭和57年 (1982)	下松市公園プール	屋外	低学年プール、幼児用プール
山口市	昭和54年 (1971)	やまぐちリフレッシュパークプール	屋外	50m×8コース、25m×6コース 遊泳プール・すべり台

(2) 建物の状況と課題

国では平成 18（2006）年に発生したプール事故を踏まえ、「プールの安全標準指針（文部科学省・国土交通省）」を策定し、利用者の安全を確保するためプールの設置管理者に対して、施設面、管理・運営面で配慮すべき基本的事項を示しました。指針では、排水口の仕様などのハード面だけでなく、点検・監視などの管理体制や緊急時の対応、監視員の教育・訓練など、ソフト面についても徹底した安全対策をもとめています。

本市の施設は、指針に示された基準は満たしていますが、より一層の安全性の確保から設置が望ましいとされる幼児用プールの落下防止用の柵などについて、望ましいとされる基準を十分に満たしていない施設もあります。

いずれの施設も築 30 年以上であり、老朽化が進行しています。特に、水泳場（周南緑地）は、機械設備も含めた施設全体が老朽化しています。このため、令和 5（2023）年度から開始予定の P F I 事業において解体し、跡地を公園の駐車場として整備するとともに、公認 25mプール及び幼児プールを備えた新しい屋内水泳場を整備する予定です。

新南陽プールも設置から 50 年以上経過し、児童用プール槽内のひび割れや漏水、給水ポンプ等の機械設備の不具合などが生じています。

鹿野プールも、給水ポンプの故障やプールのひび割れが生じており、学校の授業での利用が半数を超えているため、定期的な補修が必要です。

永源山公園プールも設置から 30 年以上が経過し、配管の腐食や止水弁からの漏水など、施設の老朽化が進んでおり、補修が必要です。

水泳プール（鶴いこいの里）は、市内で最も古いプールのため、老朽化が進んでいます。

第 6 章 今後の施設の方向性

(1) 一次評価

水泳場・プールについては、施設の性格上、本市作成の「機能の評価・検証シート」による一次評価は、項目がそぐわないことから実施しません。施設の築年数、自主点検の結果、利用状況などから、今後 10 年以内に優先的に取り組むべき施設を総合的に検討します。

この一次評価は、施設でのサービスの提供状況や施設の利用状況、建物の状況などから結果を導き出すものであり、最終的な判断・決定にあたっての材料とします。

その結果、水泳場（周南緑地）を最も優先的に取り組むべき施設とし、次に新南陽プール、鹿野プール、水泳プール（鶴いこいの里）、永源山公園プールとします。

(2) 総合評価

1) 基本的な考え方

水泳場・プール施設の利用者数は、合併時（平成 15 年度）には全施設の合計が約 5 万 3 千人でしたが、令和元（2019）年度には 2 万人弱と半分以下になっています。また、近年は競技大会が開催されておらず、大きく利用者数が減少しています。レジャー性の高いプールが好まれるなど、利用実態が当初の設置目的に即したものではありません。また、天候等に左右されず、年間を通して利用できる屋内施設が求められています。

競技大会や練習の場として整備された施設については、大規模改修や修繕が必要となった場合には、民間施設や近隣自治体施設の存在も考慮しながら廃止も含めて検討します。施設を存続する場合は、健康増進や体力づくりの場として、多くの市民が利用しやすい施設とする必要があります。また、学校施設との共用化についても検討する必要があります。

学校の授業で利用されている施設や、レジャー性が高く、幼児から大人まで憩いの場、遊び場として利用されている施設は、当面は修繕を実施しながら「継続利用」とし

ます。

2) 具体的な方針

今後の具体的な方針は次のとおりです。なお、以下の内容は、本計画の対象施設の現況を踏まえた現時点の想定であり、今後の社会経済情勢の変化や財政事情等により、見直しを行うことがあります。

- ・水泳場（周南緑地）は、P F I 事業において解体し、跡地を公園駐車場として整備します。また、新たに屋内水泳場を周南緑地内に整備する予定です。新たに整備する屋内水泳場については、近隣の複数の小学校の授業でも利用する予定です。
- ・新南陽プールは、築年数等から水泳場（周南緑地）の次に見直しの優先度が高い施設とします。競技大会の開催もなく、また利用圏域内に永源山公園プールや民間事業者の施設もあるため、今後大規模改修が必要となった際に廃止も含めて、施設の方向性を検討します。
- ・鹿野プールも見直しの優先度が高い施設で、一次評価は「廃止」となりましたが、鹿野小学校・中学校の授業でも利用されているため、当面は必要な補修等を実施しながら「継続利用」とします。
- ・永源山公園プールは、「継続利用」とし、計画的な改修等により長寿命化を図っていきます。
- ・水泳プール（鶴いこいの里）は、地域住民の利用に加え、小学校の授業等でも利用されているため、当面は「継続利用」とし、施設の安全性の確保と適正な管理を実施しながら、施設の維持補修に努めます。
- ・勝間街区公園プールは、将来的には、建物の解体・撤去を行い、広場として整備することとします。

新南陽プール・鹿野プール・水泳プール（鶴いこいの里）については、第4次行財政改革大綱に基づき、算定根拠の定期的な検証や必要に応じた減免基準の見直し、施設の維持費やサービスの提供コスト等を使用料の算定根拠に適切に反映させているかを定期的に検証し、適正化を図ります。

図表 8 具体的な方針と実施時期

No.	施設名	主たる建物						一次評価		総合評価	対策の内容(大規模修繕・改修・更新・解体等)					
		築年数	構造/法定耐用年数	法定耐用年数	耐震性	総合劣化度	バリアフリーの状況	ハザードマップの状況	取組の優先度		結果	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
1	水泳場(周南緑地)	51	S /38年	経過	無・不明	20.00	未対応	なし	高い	廃止・受益者負担の見直し	廃止・新水泳場整備		PFI事業(解体)	PFI事業(新水泳場整備)		
2	新南陽プール	51	S /38年	経過	無・不明	38.30	一部対応	洪水・氾濫流高潮	高い	廃止・受益者負担の見直し	大規模修繕等が必要な時点で廃止を検討					
3	鹿野プール	48	RC /50年	未経過	無・不明	23.50	未対応	なし	比較的高くない	廃止・受益者負担の見直し	継続利用	RC築後40年経過				
4	永源山公園プール	32	RC /50年	未経過	耐震性あり	40.30	全部対応	なし	比較的高くない	継続利用(現状維持)	継続利用	RC築後30年経過				
5	水泳プール(鶴いこの里)	48	S /38年	経過	無・不明	73.20	未対応	なし	比較的高くない	受益者負担の見直し	継続利用					
6	膳間街区公園プール	51	CB /34年	経過	無・不明		未対応	なし	—	—	廃止					

第7章 計画期間

本計画の計画期間は、令和9（2027）年度までとします。

なお、施設を取り巻く環境の変化や政策的な事情などにより、必要に応じて本計画を見直すこととします。

【参考資料1（第4章関係）】建物の現状一覧（詳細）

第4章に記載した建物の現状について、自主点検結果の詳細を含めた建物の現状は次のとおりです。

図表9 建物の現状一覧（詳細）

↓点数が高いほど劣化が進行

No.	施設名	総床面積 (㎡)	主たる建物																				バリアフリーの状況					ハザードマップの状況																				
			床面積 (㎡)	建築年度	主構造 /法定耐用年数	法定耐用 年数	耐震性	R4自主点検結果										総合劣化度	対応	エレベーター・手すり	入口の 段差解消	施設内の 段差解消	多目的 トイレ	該当	土砂	洪水	高潮	津波																				
								【建築編】					【設備編】																																			
								1.構造 部材	2.外壁、防水		3.扉、窓		4.床、階段		5.壁、天井		6.付帯設備												7.敷 地	1.電気設備					2.機械設備													
1	水泳場(周南緑地)	596.24	408.74	1971	S /34年	経過	無・不明	A	A	A	B	A	A	-	C	-	B	C	-	A	B	-	B	A	A	A	-	-	A	A	-	A	-	C	-	C	B	70.00	未対応	-	×	×	×	なし				
2	新南陽プール	155.29	98.80	1971	S /34年	経過	無・不明	B	C	-	B	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88.30	一部対応	-	○	○	×			氾	0.5m	0.5m未満	
3	鹿野プール	223.49	201.79	1974	RC /47年	経過	無・不明	B	A	B	B	B	B	-	B	B	B	B	-	A	未	A	A	-	-	B	-	-	-	-	-	-	C	-	C	B	62.30	未対応	-	×	×	×	なし					
4	永源山公園プール	824.07	770.87	1990	RC /50年	未経過	耐震性あり	A	A	A	B	A	A	-	B	A	A	A	-	-	A	A	A	A	A	A	-	A	C	A	A	A	-	A	A	A	38.70	全部対応	○	○	○	○	なし					
5	水泳プール(鶴いこいの里)	141.40	126.00	1974	S /47年	経過	無・不明	B	C	C	B	B	B	-	B	-	B	B	-	-	C	-	A	A	A	-	-	-	-	-	-	B	-	A	-	-	A	73.20	未対応	-	×	×	×	なし				
6	勝間街区公園プール	-	-	1971	CB /38年		対象外	自主点検対象外																				未対応	-	×	×	×	×	なし														

* 自主点検結果

- 自主点検による劣化度を建物の部位ごとにA～Cで判定する。
 - A:劣化がなく建物の利用に支障なし
 - B:劣化はあるが建物の利用に支障なし
 - C:劣化があり建物の利用に支障が生じている又は生じるおそれがある
- 総合劣化度:建物の築年数、構造、自主点検による劣化度を考慮した、その時点における建物の状況を示す。点数が高い施設ほど、劣化が進んでいる。

周南市プール施設分類別計画

平成31(2019)年3月

(令和5(2023)年3月改訂)

地域振興部 文化スポーツ課
〒745-8655 周南市岐山通1-1
TEL 0834-22-8624
FAX 0834-22-8428
メール ed-sports@city.shunan.lg.jp